

2025

3月号
March

Kyushu-kyoku times

九州教区だより

生活を聞法の場に—真宗門徒として—

九州教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・
立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け記念事業

ミュージカル NINGEN 親鸞 開演

このたび、3月21日から22日にかけて、九州大谷短期大学大谷講堂を会場に、九州大谷短期大学制作・上演の「ミュージカル NINGEN 親鸞」を開演します。このミュージカルは九州教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け記念事業として開催するものです。

末法の世に生まれた親鸞聖人は人としてどう生きたのか？現代にも通ずる「生きる」とは何かを描いたヒューマンドラマです。2026年3月から九州教区内各別院において順次厳修される教区慶讃法要を間近に控えた今、是非とも有縁の皆様をお誘いあわせの上、「ミュージカル NINGEN 親鸞」をご観覧くださいませようご案内申し上げます。

日時 3月21日(金) 13時開場・14時開演
3月22日(土) 12時開場・13時開演
3月22日(土) 17時開場・18時開演

会場 九州大谷短期大学 大谷講堂
(福岡県筑後市蔵敷495-1)

チケット 1,000円 (全席自由・座席の指定は不可)

真宗大谷派九州教区
宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け記念公演



ミュージカル
親 NINGEN 鸞

2025年 3月21日(金) 13:00開場 14:00開演
3月22日(土) 12:00開場 13:00開演
3月22日(土) 17:00開場 18:00開演

会場 九州大谷短期大学 大谷講堂
福岡県筑後市蔵敷495-1 0942-33-9900

チケット 1,000円 (全席自由・座席の指定は不可)

申込・問合せ先 真宗大谷派 (東本願寺) 九州教務所
お電話もしくはお振込先を併せてお知らせください。
備考: チケットを在庫限りまで完売。お振込は用紙にてチケット代金のご納金をお願いします。
九州教務所: TEL 0942-32-3056 FAX 0942-39-5077
主催: 真宗大谷派九州教区

申込・問合せ

九州教務所 TEL.0942-32-3056

※お電話・チラシ裏面申込書をFAXしてください。
※お申込み受付後、チケットをお送り
しますので、同封の振込用紙にて
代金のご納金をお願いします。

Webでの申込みはこちら→



なお、本ミュージカルは、来年以降、九州教区慶讃記念事業として、2026年3月には鹿児島、2027年3月には長崎、2028年3月には大分にて公演を予定しています。(詳細な期日・会場は検討中)

「2025年 九州教区新年互礼会」を開催

1月30日(木)、草野信之教区会議長及び熊本照美教区門徒会長が発起人となり、鹿児島市内のザ・ピーク プレミアムテラスを会場として「2025年 九州教区新年互礼会」が開催されました。

鹿児島組・宮崎組をはじめ九州内各地より91名の方にご参加いただき、旧5教区の枠組みを超えた九州教区としての親睦の場となりました。



開会にあたり、草野議長、熊本門徒会長、信國教務所長より、来る2026年に「九州教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」《第1期法要(3月5日～8日)》をお迎えするにあたり、法要厳修及び記念事業の実施に向けての抱負について、それぞれ御挨拶をいただきました。



また、慶讃法要お待ち受け記念公演として「ミュージカル NINGEN 親鸞」を制作・上演する九州大谷短期大学より、同公演の見どころについてお知らせがありました。

今後も、教区新年互礼会が、教区の皆様方の僧俗共なる「語り合い・確かめ合いの場」となることを願っております。

「原爆80年 非核非戦 公開講座」を開催

2025年2月9日(日)14時より、長崎教会(長崎市筑後町)を会場に「非核非戦定例法要」に併せ「原爆80年 非核非戦 公開講座」が開催されました。

このたびの公開講座は、原爆投下から80年を迎えるにあたり、昨年11月より開催しているものです。今回の講座では、会場95名・WEB16名と100名を超える方々にご参加いただきました。



講師には、長田浩昭氏(京都教区法傳寺住職)をお迎えし、昨年発生した能登半島地震での現地の状況をふまえ、珠洲など能登に建設予定であった原子力発電所のお話を中心に、日本の戦後における「核」の歴史などについてお話いただきました。

なお、当公開講座は九州教区公式YouTubeにて公開しており、どなたでもご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

次回は、6月9日(月)、沖縄の照屋隆司氏をお招きして3回目の公開講座を開催いたします。ぜひ有縁の方々をお誘いいただき、みなさまのご参加をお待ちしております。

九州教区公式
YouTubeは
こちら→



「第1回 福岡都市圏親鸞講座—正信偈に学ぶ—」を開催

1月27日(月)19時より、仏事サポートセンター福岡を会場に「第1回 福岡都市圏親鸞講座—正信偈に学ぶ—」が開催されました。

このたび、新たに建設したサポートセンターでの初めての事業でしたが、会場参加は11名、WEB参加は56名、計67名の方々に参加いただきました。

講師には、九州大谷短期大学准教授の青木玲先生をお迎えし、初回となる第1回は「正信偈とは」をテーマに、『正信偈』の全体像、また制作された経緯、『正信偈』に親鸞聖人のお気持ちがどのように込められているのか等、丁寧にお話いただきました。

また、本講座では、講座終了毎に講座映像を参加者へお送りいたします。お寺の同朋の会や、御命日のつどい、自主学习など、さまざまに活用いただきたいと願っております。

ご参加の皆さんと共に親鸞聖人の御心をいただく機縁になることを念じて引き続き開催してまいります。



現在もWEB参加の申し込みを受け付けております。
申し込み完了後に、過去の開催動画をお送りさせていただきます。

動画の
活用方法は
こちら→



「定例法話会—法語から聞く仏さまの教え—」を開催

「そんかとか 人間のものさし うそかまことか 佛さまのものさし」 相田みつを

1月28日(火)14時より、東本願寺仏事サポートセンター福岡を会場に「定例法話会—法語から聞く仏さまの教え—」が開催され、7名の方にご参加いただきました。

この法話会は、講師が選定した法語をサポートセンターの掲示板に1ヵ月間掲示し、その法語をもとにご法話をいただくというものです。福岡都市圏に在住のご門徒はもとより、特に新サポートセンターのご近所の方々に足を運んでいただくことを願いとして企画したものです。

第1回目は、信國眞—九州教務所長より「そんかとか 人間のものさし うそかまことか 佛さまのものさし(相田みつを)」の法語をもとにご法話をいただきました。

“私たちは、生活の中での事柄を損か得か、良いか悪いか、好きか嫌い、役に立つかどうかなど、自分のものさしで判断します。そのような中で、聞法するということは、仏さまの法則をいただくことであり、人間の法則・私の都合、私のものさしを問い直していくことだ”とお話いただきました。



各講師の選定法語は、仏事サポートセンター福岡公式HPでも「今月の法語」として毎月掲載してまいりますので、ぜひご覧ください。

「今月の法語」は
こちら→



教務所からのお知らせ

教区雇員の募集について(予告)

このたび、九州教務所に勤務いただく教区雇員の方を募集いたします。次月(4月)の「教区内全寺院定期発送便」に募集要項を同封いたしますので、ぜひご応募くださいますよう、予めお知らせいたします。
なお、お問い合わせは、九州教務所(担当:西藤)までお願いいたします。

仏事サポートセンター福岡からのお知らせ

「仏事サポートセンター福岡」の仏間及び会議室の利用について

このたび新たに建設した仏事サポートセンター福岡の「仏間」「会議室」は、ご法事やお斎、諸会議の会場等、様々な用途でご利用いただくことができます。

郷里の寺院と離郷門徒の方とのご縁をつなぐ「場」としてご活用いただくことはもとより、教区内各種団体の会議及び研修会の際の会場としてもぜひご利用ください。

ご利用をご検討される際は、お気軽に仏事サポートセンター福岡までお問合せください。

お問合せは…



真宗大谷派(東本願寺)
仏事サポートセンター福岡
TEL.092-734-0207

詳しくは
公式HPからご覧
ください



仏間



会議室

寺院相談室からのお知らせ

法務員募集寺院のご紹介

下記寺院において法務員を募集しています。
詳細については九州教務所までお問い合わせください。

組	寺院名	寺院所在地
豊前中津組	來迎寺	豊前市大字馬場
八女組	専勝寺	八女市黒木町
長崎組	妙行寺	長崎市相生町
長崎組	萬行寺	西彼杵郡時津町

※後継者問題や法務員の募集をはじめ、寺院を取り巻く様々な問題について、どうぞお気軽に寺院相談室にご相談ください。

連絡先:九州教務所 TEL.0942-32-3056
(担当:西藤)

「九州教区 緊急事態対策委員会」を開催

九州教区「令和6年 能登半島地震」 災害義援金の勧募結果 (12月31日)

義援金合計 38,201,393円 (655件)
 (内訳) 寺院教会 33,935,464円 (356件)
 団体・個人 4,265,929円 (153件)
 ご支援・ご協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

1月22日(水)、「九州教区 緊急事態対策委員会」が九州教務所を会場に開催されました。

当日は、九州教区「令和6年 能登半島地震」災害義援金勧募の締め切り後の結果についての報告(上記のとおり)、そして、見舞金の給付金額及び給付先、給付時期について協議を行いました。

協議結果及びこれまでの見舞金給付状況は右記のとおりです。

なお、九州教区の勧募は2024年12月31日をもって終了し、今後は、本山設置の救援金口座への送金をお願いいたします。皆様からの温かいご支援を引き続きお願い申し上げます。

本山救援金
口座はこちら

郵便振替口座番号：00920-3-203053

加入者名：真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。



〈給付状況〉

■2024年1月12日給付

給付先	金額
真宗大谷派	500万円
能登教区	200万円
新潟教区	30万円
富山教区	30万円
金沢教区	30万円

(※能登教区のみ1月16日給付)

■2024年4月4日給付

給付先	金額
能登教区	1,000万円

■2025年2月5日給付

給付先	金額
能登教区	19,614,589円

※災害義援金の内、150,000円はボランティア活動補助(3件分)として、536,804円は広報・事務費として使用。

「九州教区企画振興室」の会議を開催

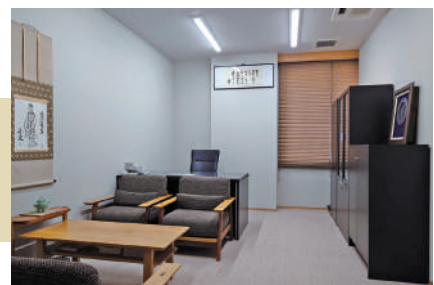
1月22日(水)、2024年度第1回目となる「九州教区企画振興室」が九州教務所を会場に開催されました。「企画振興室」は、教区改編後の諸課題をはじめ、教区の将来を見据えた課題等について協議を行う機関です。今回は、「教区会・教区門徒会」での議決を経て施工された九州教務所や各教務支所の改修工事の現況についての報告をはじめ、2025年度に向けた教区財政等の課題について話し合われました。

「企画振興室」は、今後も随時開催し、教区の実情に即した教区運営に資するための協議・検討を行ってまいります。

九州教務所改修工事を経て
設置された応接室・講師控室・
新教務所長室



応接室・講師控室



新教務所長室

「第2回 九州教区第1期慶讃法要実行委員会」 「記念事業部会・法要部会・団体参拝部会」を開催

1月30日(木)、第2回「九州教区第1期慶讃法要実行委員会」及び「各部会(記念事業部会・法要部会・団体参拝部会)」が鹿児島別院を会場に開催されました。



まず、実行委員会において、過日開催された「教区慶讃事業推進委員会(1月22日開催)」の報告を行った後、各部会に分かれて協議を行いました。

また、第1期慶讃法要実行委員会の中に設置される各部会の部会長には、齊藤暁壽氏(記念事業部会部会長)・末吉満法氏(法要部会部会長)・富重真直氏(団体参拝部会部会長)がそれぞれ互選されました。

今後は、第1期法要期間中の法要・記念事業の日程・内容等について、協議を進めてまいります。

「鹿児島別院子ども会」を開催

2月1日(土)、「鹿児島別院子ども会」が開催され、子ども14名、大人6名が参加しました。2025年第1回目の開催となる今回は、桜島フェリーで大隅半島へ渡り、鹿児島組眞宗寺へ赴きました。

眞宗寺では、「眞宗寺子ども会」の子どもたちと一緒に昼食を食べ、お勤め・法話の後、ゲームをして交流しました。ゲーム中は、初対面とは思えないほど一致団結して取り組む子どもたちの姿が見られました。

当日はあいにくの大雨で、桜島を見ることはできませんでしたが、初めてのフェリー乗船や、普段出会うことのない人との交流を楽しむ子どもたちの姿が見られ、活気ある子ども会となりました。

鹿児島別院子ども会は、「九州教区慶讃法要」の第1期お待ち受け事業として、隔月に一度開催しています。次回は、4月19日(土)に鹿児島別院で花まつりを行う予定です。



＜宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ＞

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

- | | | |
|-----------|-------|--------------------|
| [第1期法要] | 鹿児島別院 | 2026年3月5日(木)～8日(日) |
| [第2期法要] | 佐世保別院 | 2027年3月4日(木)～7日(日) |
| [第3期法要] | 四日市別院 | 2028年3月2日(木)～5日(日) |



今月のコラム



彼岸に憶う

春や秋のお彼岸になると、お花を持ってお墓参りをする人々の姿がテレビニュースで放映される。中には、亡くなった方の好物を持ってお参りする人も多いようだ。特にお彼岸の頃になると、いったい「先祖供養」というのはどういうことをいうのだろうかと思改めて考えさせられる。“亡くなった先祖が迷わないように、魂を慰めてもらうためにひとつお経でもあげてもらって…”との声を聞くこともある。慰めなければ自分に災いが降りかかったりするのではという思いもあるのだろう。そう考えると、私たちが先祖供養をするという心の中には、亡き人に対する深い感情の他に、自分自身の身の保身ということが混同しているように感じる。いったい先祖を大切にすることとはどういうことなのだろうか。それは、やはり先祖から賜ったものを「歡ぶ」ということがなければならぬのではないだろうか。

つまり、先祖から賜った「この身」を自分が歡べるのかということ。私自身が自分の人生に感動するということ。そこではじめて供養となり得るのではないだろうか。そういうことがなければ、私の心の区切りや気晴らしということで終わってしまうように思う。

「供養」という言葉は、サンスクリット語で“プージャー”といい、“尊敬”という意味があるという。

亡くなった方々を本当に尊敬しているであろうかと問い直させられる春である。

今月の法語

ゆかり 九州に縁の先師を憶う

われわれの生は、
われわれの記憶も届かない
深いところから来ている

武宮 礼一（法藏館発行：『通いあういのち』より）



敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します(2025年1月21日から2月15日まで)

長野 タユ子様 (長崎組 正法寺 前坊守) 1月27日寂 84歳

2025年3月・教区内行事予定表

Table with 5 columns: 日付, 時間, 内容, 会場, 講師. Contains 12 rows of event details for March 2025.

2025年3月・別院・大谷会館・長崎教会・東本願寺熊本会館・門司教会行事予定表

Table with 5 columns: 日付, 時間, 内容, 会場, 講師. Contains 24 rows of event details for March 2025 across various locations.

編集後記

九州教区の皆様、「九州教区公式LINE」の登録はお済みでしょうか? 教区公式LINEは、『今、皆様へお伝えしたい情報』を厳選し発信しています。また、「九州教区公式ホームページ」や「仏事サポートセンター福岡公式ホームページ」へも簡単にアクセスすることができる仕様となっています。寺族・御門徒をはじめ、九州教区の多くの方のご登録をお待ちしております。ご登録がお済でない方は、ぜひこの機会にご登録ください!

教化事業のお知らせの他、様々な教区の最新情報等を発信しています。



LINEの友達追加はこちらから



真宗大谷派 九州教区

Shinshu Otani-ha Kyushu Kyoku



〒830-0038 福岡県久留米市西町540-1 TEL.0942-32-3056 FAX.0942-39-5077